

Special Session@GISA'2024 The Frontier of GeoAI



GeoAIの最前線

日時: 2024年10月26日9:00-12:40(パネル討論+ハンズオン)
企画: 地理情報システム学会GeoAI分科会/共催: GITA-JAPAN
会場: 京都大学宇治キャンパス(会場F)
費用: 参加無料*1。現地参加のみ。定員75名・先着順

地理空間は人類生存の基盤で、知の源泉でもあります。GeoAIは空間情報に優れたGISと知識処理に優れたAIを融合し、GISに新しいパラダイムをもたらします。本セッションはGeoAI分科会がこの一年の調査を報告し、GeoAIの研究と実践を深化していく方向性を検討します。同時に昨年同様、ArcGISとLLM-Geoのハンズオンも行い、GeoAIの可能性を体験する機会を提供します。

パネル討論: GIS・AIのコンバージェンス (9:00-10:40)
モデレーター: 巖網林

AI for GIS, GIS for AIの両面から、GeoAIに関連する国内外の研究開発と技術応用の最新動向を報告し、GeoAIの可能性と課題を検討し、学会として先導的に推進する方策を提案します。

ハンズオン GeoAI実用ツールへの案内(11:00-12:40)
モデレーター: 大場章弘

開発途上の対話型生成系AIとGISを連携させたGeoAIのツールを取り上げ、体感するハンズオンセッションを行います。

GeoAIの動向と研究展望	巖網林	地理情報システム学会長
GeoAIとBIMの連携可能性	片山 耕治	政策研究大学院大学 教授
GeoAIの技術トレンド	金森 貴洋 佐藤 俊明	株式会社パスコ研究開発センター 同 センター長
人流データの可能性、応用と課題	蔣 湧	愛知大学地域政策学部 教授
ArcGISにおけるGEOAI*2の実装と応用	高瀬 啓司	ESRIジャパン株式会社先端技術開発グループ 課長
生成系GeoAIツール開発の進展	大場 章弘	中央大学研究機構 助教

Mapbotica*1によるGeoAI実用ツールの実践	Mapboticaを使って、ブラウザで稼働可能な対話型生成AIを用いたGIS解析やWebGISおよび地図生成の実践を行います。	大場章弘 中央大学研究機構助教
-----------------------------	---	--------------------

参加申し込み ← ここへアクセス



Or

←このQRコードをスキャンする

*1 同時開催中の学会学術発表セッションは有料、その申し込みはGISAのHPをご参照ください。

*1 Mapboticaは大場による開発中のGeoAIツール

*2 GEOAIはESRIの商標



お問い合わせ: 地理情報システム学会GeoAI分科会事務局 geoaiwg@gmail.com Facebook: [ここをクリック](#)